

東北大学大学院理学研究科／電波天文周波数小委員会委員 土屋史紀構成員  
からのご意見（メール）

漏洩電磁界強度の測定値の解釈を行うためには、漏洩電磁界の直接的な原因となっている、電力線を流れるコモンモード電流の実測を行うのが有効です。

一般家屋では電力線が壁の中に配線されているため、これまでの作業班での実験等では、実際に配線されている電力線にコモンモード電流を計測することは容易ではなかったと想像します。

一方、実験が工場で実施される場合、配線が露出している箇所では、電力線のコモンモード電流計測は容易に実施することが可能ですので、コモンモード電流計測の検討を求めます。